

- *コミュニケーションを大切に考えたアットホームな雰囲気。
- *ソフトウェアの企画・開発も手掛ける革新的な企業。
- *女性も無理なく長く活躍できる働きやすい環境。

●設立 1954年2月
 ●資本金 1000万円
 ●従業員数 50名(男性23名、女性27名)
 ●初任給 大卒17万5000～21万円、高卒16万1000～18万5000円
 職務手当、残業手当、通勤手当
 ●休日休暇 年間105～110日、年間スケジュールあり。年末年始、ゴールデンウィーク、お盆休みは完全休日
 ●福利厚生 各種保険完備、厚生年金、育児休暇など

大分市西新地2-6-39
 TEL / 097-552-0008
 ●採用担当者連絡先
 TEL / 097-552-0008
 (担当:長濱・三重野)
 【mail】 recruit@asahip.co.jp
 【HP】 www.asahip.co.jp
 www.sunepoch.co.jp

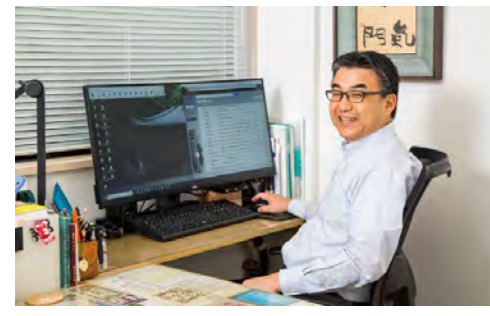
アサヒグループ



自動車部品用品卸売業 / システム企画・開発

エッセンシャルワーカーとしていつ何時も大分のカーライフを守る!

コロナ禍の今、企業はどこも感染予防や資金調達など様々な対策に取り組んでいる。実は『株式会社アサヒ』は、こうした災害や感染症など「もしも」の事態に備えて10年以上前から取り組みを始めていたため、大きな混乱もなく事業活動を続けることができたという。それは2008年、新型インフルエンザの流行で、コールセンターのスタッフが不足したという苦い経験が発端だった。BCP(=事業継続計画:自然災害やテロ攻撃など緊急事態に遭遇した場合に、事業資産の損害を最小限にとどめながら事業継続もしくは早期の復旧を可能にするための計画のこと)活動に力を入れ、専門の研修を受けながら社内独自のマニュアルを作成。マスクや消毒液の備蓄、支払い方法の見直しなど衛生・経営あらゆる面で備える同社の活動は、NHKの番組でも紹介された。オンラインでの会議、テレワーク、社員の体調管理など、日本で感染者が出始めてすぐの2月頃から備えてきたため、これまで緊急事態宣言時を含め、感染や事業の滞りもなく会社は動き続けている。そこまでの危機感を持って対策を進めてきたのは、車社会の大分の生活に欠かせない自動車部品を扱う業種であり、エッセンシャルワーカーだと強く実感したことも大きいという。「大分のカーライフを守る」-同社は平常時もコロナ禍も、変わらずその使命を貫いている。



Executive / 長濱 弘晃
 ながはまひろあき / アサヒグループ代表取締役社長
 どんどん生まれる新しい技術などによって、自動車やそれを取り巻くサービスに求められることも変化していく。「これからも時代の流れを見極めつつ、お客様と社員の笑顔のために前進したい」。

社員がのびのびと、満足して働ける環境づくり

「アサヒ」の業務は、営業部の内勤(営業1課)と外勤(営業2課)、管理部が支えている。営業1課の受注スタッフは、電話やメールで寄せられる問い合わせや注文の受付、オンライン発注を行い、店頭を訪れるお客様にも対応。物流スタッフは、店舗奥にある倉庫内でパレットの入荷と出荷、保管の管理を担当する。店頭や出張先でタイヤ交換、ローター研磨、ナビ

の取り付けなどのサービスを提供する「テクニカルサポート」もこの課だ。営業2課はルート営業を担い、整備工場やガソリンスタンド、カーディーラーを回って新商品の紹介や提案、販売を行う。会社全体の効率的な運営を支えるのが、管理部。経理、人事、総務をはじめ、経営企画や法務・知的財産・情報システムなど様々な業務を通して、会社経営をサポートしている。

社員構成が男女ほぼ半々である同社は、平成11年に大分県内でもいち早く産休・育休制度を導入した会社だ。有給休暇についても昨年8月8日と定め、年間スケジュールに組み込む試みを実施。昨年施行された年5日の有給休暇義務化を、さらに上回る設定で先取った形だ。できるだけ連休を取得するよう呼びかけており、年に何度か旅行に出掛ける社員も珍しくない。残業については、昨年末までは月に20時間以内、今年15時間以内を目標とし、イベント時などを除けば17時～18時の間に退社することがほとんどだという。また、

今年新型コロナウイルスの影響で例年通りにはいかないものの、通常は飲み会やレクリエーション、慰安旅行、親睦会をはじめ、半年に一度、拠点ごとでパート社員を含むスタッフと社長が必ず参加する、会社負担の会合開催など、社員一人ひとりの声が届く取り組みも定期的を実施。このように「すべての社員がのびのびと楽しく、満足して働ける」環境づくりが、仕事の効率とモチベーションを上げること、さらには同社の業績アップにもつながっている。



安心・安全・快適な楽しいカーライフサポートを提供



同社は、修理工場やカー用品、ガソリンスタンドなどに自動車の部品を卸売りする会社。カーオーナーが修理や整備を業者に依頼すると、業者が同社に必要な部品を注文する。在庫があれば同社の事業所から、ない場合はメーカーとやりとりして部品を手配し業者に配送するのが、アサヒの事業の流れだ。

同社が昭和29年に部品販売を開始したのは杵築市だが、現在は大分市の本社および西新地営業所をはじめ、鶴崎・南・臼杵・玖珠・日田に営業所を構え、別府・日出・国東・三重にはグループ会社があり、大分県全域をサポートしている。営業や流通センターでの出荷、在庫・保管管理、問い合わせ・注文受付・手配部品の発注などを行うコールセンターなど、各部署で働く社員数は総勢50名。およそ1000社と取引する同社は、社員たちが一丸となってグッズドカーライフを提供する役割や、「サンエポック株式会社」というソフトウェアの企画・開発部門を設けるなど革新的な業態に定評があり、業界では名の知れた存在だ。

自動車部品や用品の卸売り事業、テクニカルサポート・サービスをはじめ、コンピュータソフトウェアの企画・開発、ソフトウェアの販売・レンタルなどの事業を手掛ける「アサヒグループ」。会社全体がまるでひとつの家族のような、アットホームな雰囲気の職場だ。

Q. 社内はどのような雰囲気ですか？

A. 社内・社外への研修参加をはじめ、食事会や慰安旅行、レクリエーションなど、パートを含めた全スタッフと社長が交流する機会が度々設けられており、会社は年代や役職に関係なくみんなが家族のような雰囲気です。現在はコロナの影響で、会議や飲み会はオンラインで実施。密を避けつつ、一人ひとりの声を大切にする「アサヒ流コミュニケーション」を図る取り組みを続けています。



慰安旅行は2年に一度実施。



リモート飲み会でコミュニケーション。

Q. 「TSS(テクニカル・サポート・サービス)」とは何ですか？

A. 依頼先に出張し、カーナビやドライブレコーダー、オーディオの取り付けを行うサービスのことで、知識と技術、経験を備えた専門のスタッフが対応するため、作業時間が通常より大幅に短縮される上に、仕上がりも良いと評判。「ロックフォード」や「グラウンドゼロ」などイギリスやアメリカ、ドイツのスピーカーを、作業代含め2~3万円ほどで購入・取り付けできるサービスは音にこだわるドライバーに好評です。



大規模なカー用品展示会「あさひ市」は年々話題を呼び続け、計76社もの協賛を集めるなど大盛況だ。

Q. 年に一回開催される「あさひ市」はどんなイベントですか？

A. 自動車部品に関する最新の情報を、展示や実演・セミナーなどを通して実際に目で見て触り、いろんなメーカーの担当者と直接話ができる「あさひ市」を、通常は9月の土、日曜の2日間にわたって、大分市内のイベント会場で開催しており、昨年はおよそ70社以上の企業が出展。今年はコロナ禍のため残念ながら会場での開催は難しかったのですが、代わりにオンラインでセールなどを企画しました。

Q. 業界で信頼され続けているのはなぜですか？

A. 一般の方にはあまり周知されていませんが、『アサヒ』は整備工場やカー用品店など、専門業者向けの会社。県内最大10カ所の拠点数、4万5000アイテム、総在庫数およそ13万5000個以上の豊富な品揃えに加えて、自動車部品に関する特殊な知識を持ったスタッフによるコールセンターを設け、迅速的確かつきめ細かな対応を心掛けています。

07

Q. グループ会社『サンエポック』の業務内容はどんなものですか？

A. コンピュータソフトウェアの企画と開発、販売、レンタルなどを行っています。平成22年には、整備や部品販売の業者が、交換見込みのある部品を直感的かつ簡単に選択できる「自動車部品スマートカタログシステム」で特許を取得。WEBで金額や在庫状況を即座に確認できる「オートパーツドットネット」も手掛けています。こうして卸売りとソフトウェア開発を同時に手掛ける会社は全国でも非常に珍しいと思います。



在宅勤務でも仕事の効率を上げるために様々な工夫をしている。

Q. 『アサヒ』のお客様はどのような方ですか？

A. 本先に店舗はあるものの一般のユーザーに直接販売することは少なく、基本的には整備工場、ディーラー、ガソリンスタンドやカー用品ショップなど、自動車に関わる専門業者を対象としています。エンドユーザーである「カーオーナー様の視点」を尊重し、各業者に必要な商品を正確に迅速に届けることはもちろん、自動車部品に関する知識やサービスを提供するのがモットーです。



業者向けサイト「オートパーツ」。



部署を分散するなどコロナ対策も万全。

Q. 残業は多いですか？

A. 部署と時期（月初、月末など）によっては残業する日が発生するものの、目標の残業時間を年々減らす傾向にあり、今年は基本的に月15時間以内を目指しています。水曜と土曜はノー残業デー。残業手当はありますが、残業が多すぎると評価のポイントが下がり賞与に影響する場合も。なるべく残業を少なくおさえ、日頃の業務のなかで評価のポイントを上げてもらいたいと考えています。



昨年新卒で入社した長濱愛梨さん。

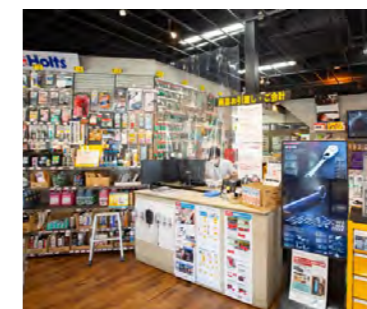
Q. アサヒグループの歴史はいつ始まりましたか？

A. 1954年、初代が杵築市で自動車部品の販売を開始したのが始まり。現在は初代の孫である長濱弘晃氏が代表取締役社長を務めています。平成7年にソフトウェア企画・開発の関連会社『サンエポック株式会社』が生まれたのは、大学卒業後コンピューター関連の会社に勤め、アメリカで暮らしていた現社長が、もともとやりたかったというソフトウェアの開発に取り組み始めたのがきっかけです。

楽しく、誇りを持って働ける職場

Q. どんな人材を探していますか？

A. 自動車部品を扱う上で必要な知識は、先輩の指導や研修などを通して、仕事をしながら身につけることができるので、車に詳しくなくても大丈夫。自動車が好き、興味がある、明るく元気でプラス志向、自動車という社会に欠かせない存在を支え、多くの人のより安全・安心・快適なカーライフのために役立ちたい、お客様に喜んでもらいたいという気持ちがなにより大切です。



店頭での販売も行っている。

Q. 休暇制度について知りたいです。

A. 有給休暇は年8日で、国が定める5日を上回る設定。さらに連休で取れることを会社が勤めており、お盆などからめて長期で連休を取得したり、年に数回旅行に出掛ける社員も少なくありません。産休・育休については、出産の前後1か月から1年程度が基本。ですが、状況によっては保育園が見つかるまでの期間とするなど、フレキシブルに取得できるよう配慮しています。

Q. やりがい・会社の魅力を教えてください。

A. お客様の満足した様子を目の当たりにし、「ありがとう」という感謝の言葉でやりがいを感じられます。会社全体がアットホームな雰囲気楽しく仕事ができ、独自の制度でしっかり休みや自分の時間も取れるのでプライベートも充実。業界で60年以上信頼され続け、独自の業態が注目・評価されている当社だからこそ、会社や仕事に誇りを持って働くことができるのも魅力です。

Q. 車が好きな人にうれしい活動はありますか？

A. 『サンエポック』がスポンサーとなり、自社で制作したソフトウェアから名付けた「オートパーツ号」が、熊本にある自動車レース場『HSR九州』での軽自動車耐久レースに参戦しています。車体にはアサヒが取り扱うパーツを使用しており、商品のテストや宣伝の効果も兼ねています。ドライバーやピットスタッフ、ネット配信するなど社員が参加して活躍。クルマ好きにはたまらないと思います。



レースに参戦する「オートパーツ号」。